

— 人口の動き —  
 1月末日現在  
 ( ) は12月末との比較  
 人口 5,917人 (+4人)  
 男 2,897人 (+2人)  
 女 3,020人 (+2人)  
 世帯 1,265世帯 (-3)  
 出生 6人 死亡 6人  
 転入 12人 転出 8人

広報

わしま

発行 和島村役場企画課  
 発行日 昭和50年3月1日  
 印刷所 西山町 三共印刷



もうすぐ

一年生

西高東低の冬型の気圧配置がくずれ、南からの暖かい風が吹き始めるようになり、ぼちぼち春のおとすれを感じるようになる。  
 春の周期は四日から五日のへだたりで押し寄せてくる。  
 寒林を鳴らして吹きまくる強風や、長かつた雪との戦いとも終りを告げてやがてやってくる春のい吹の中で私たちの身のまわりもあわただしさをましてくる。

こうした自然現象とは別に今年、新しく小学校に入学する六十八名の児童たちも、春のおとすれを今や、おそしと待ちわびている。  
 四月の入学を前に、桐島、島崎の両小学校では、お母さんに手を引かれた児童たちが、身体検査や知能テストなどを受け、入学準備に大わらわでした。  
 尚、小、中学校の児童生徒数及び入学式は次の通りです。

- 桐島小学校入学児童 三十名  
四月四日 午前九時三十分
- 島田小学校入学児童 三十八名  
四月四日 午前十時三十分
- 北辰中学校入学生徒 九十一名  
四月五日 午前十時

3月の心配ごと相談

日時…… 5日と25日  
 午前10時から午後3時まで  
 場所…… 福祉センター  
 内容…… 生活相談、医療相談、家事相談、児童相談、身障相談、職業相談ほか

節分

静かな朝の空気を破つて、「先生おはよう」といっしょに、はじきだす声が次々と玄関から飛び込んで来る。節分の一週間前前から、一生懸命マズ作りに精を出したり、鬼と



おかめのお面にクレヨンで色をぬつたりして節分の日の来るのを指折り数えて待ちわびていた子供達。赤鬼あり、青鬼ありで各自お面をかぶつてはしやぎまわり、狭い園舎はまるでハチの巣をつついた様なにぎやかさです。さて、あらかじめ子供達が持ち寄りし

たマメを用意し、まくマメと違って食べさせるマメとを別にして用意周到と云つたところ「先生何時になつたらマメまきするの？」と登園早々からの催促。「そうね、皆さんの元気のいいマメまき風景を役場の人が写真に撮りたいんだつて、だからおひるを食べ、一寸おやすみして一時半頃になるわね。」「うわーうれしな。」「はやくまきたいね。」とひとみを輝かせながら喜ぶさまは、ほんとに無邪気だ。時間到来と共に、子供達はマメを手手に遊戯室に行儀良く並び、一斉に澄んだひとみを保母に向ける。  
 節分行事の話は静かに聞く。保母も又子供達を鬼にたとえて「泣き虫鬼や、おこりんぼ鬼や、いじわる鬼を皆んなで追払いましょうね。」と自重性を持たせる。保母からマスの中にマメを入れてもらい、各々窓から、部屋から、廊下から、モミジみたいな手を広げて園舎内外へと元気一杯「オニはそと」。「フクはうち」と投げつける。七十七名の元気な声が響きわたる。しばし時を忘れてうち興じた後丁度おなかの空いたところで「いただきます。」の声と共に香ばしいマメや、ピーナツ、シニークリームにミカンと次々に子供達の胃袋の中に吸い込まれてゆく、楽しい節分のひとこまでした。

恒例の公民館主催娯楽大会が、二月二日福祉センターにおいて開催されました。成績は次のとおりです。  
 開基の部  
 一位 肥田野勝彦  
 二位 広川 潮頭  
 三位 大矢儀右エ門  
 マージャンの部  
 一位 早川 堅治  
 二位 羽入富士男  
 三位 加勢 光志  
 また、短歌会では、山田貞子さんの「石動(いするぎ)の



宮に統ける山路に二年詣りの灯は揺れ登る」をはじめ多数の方々の詠草が入賞しました。

3月保健衛生行事

日	曜	種	目	対	象	時	間	場	所													
一	土	健	康	家	族	計	画、	又	は	健	康	に	つ	い	て	相	談	の	あ	る	方	
三	木	妊	婦	妊	婦	婦	妊	婦	妊	婦	妊	婦	妊	婦	妊	婦	妊	婦	妊	婦	妊	婦
八	火	乳	児	満	三	ヶ	月	以	上	の	乳	児	検	診								
九	水	種	痘	昭	和	四	十	八	年	三	月	一	日	以	前	の	出	生	者			
十	金	三	才	昭	和	四	十	六	年	四	月	二	日	以	前	の	出	生	者			
二	水	種	痘	昭	和	四	十	八	年	三	月	三	日	以	前	の	出	生	者			
六	水	種	痘	昭	和	四	十	九	年	一	月	三	十	一	日	以	前	の	出	生	者	

小島谷駅よりお知らせ

。荷物受付時間の変更  
 3月10日より荷物の受付時間をお知らせいたします

8時30分より17時まで  
 (手荷物は20時まで)  
 出かけには充分ご注意ください。  
 電々公社和島局の自動化に伴ない2月26日から小島谷駅は「2015番」になりました。

### 新潟県議会議員選挙投票日 4月13日

任期満了による新潟県議会議員選挙は、四月一日に告示され四月十三日が投票日となります。棄権することなく皆んなで投票しましょう。

### 和島村長選挙投票日 4月27日

任期満了による和島村長選挙は、四月二十日告示され四月二十七日に投票が行われます。今後四年間の和島村政をゆだねる大事な選挙です。皆で必ず投票しましょう。

○をつける欄	候補者氏名
○	甲野太郎
	乙野次郎

郵便による不在者投票制度新設

投票当日迄に他市町村へ転出した人は投票できません。○当日投票所へ行けない人は四月二十の告示の日から和島村で不在者投票が出来ます。○投票方法は記号式です。村長選挙については、投票用紙にあらかじめ候補者の氏名が印刷してありますので、投票したいと思う候補者の氏名の上に○の印を押して投票して下さい。

### 山火事に注意

春の山採取シーズンが参りましたが、山採ブームは無公害食品、自然食復帰等で高まるばかりです。しかも自然に親みながらピクニック気分での山採取は町の人達のみならず山村の人達にも大いに魅力あるもので、まして交通ラッシュや行楽地での人混みも自然に無難ありません。



そこで山火事防止については山採取や入山される人に勇気をもって「火気には注意して下さい。資源不足がさげばれている昨今、大切な山林資源を守るため一人一人が注意し合い緑豊かな村造りに御協力下さい。

老人福祉の充実に伴ない去る二月八日和島村総合福祉センターに於て、三古社会福祉事務所より講師を招いて合同研修会を開き、老人クラブと老人社会奉仕活動、ねたきり老人対策、老人医療対策、老令福祉年金等老人福祉施策として欠かせない諸問題について活発な意見討議を行ない内容のある一日を終了することが出来ました。

ことば、林間学校、緑の教室等で奨励していることでもあり結構なことですが入山される人達のマナーが問題になっており各所でトラブルが生じていることは皆さん御承知のとおりです。

森林災害共済 (10aあたり単位円)

林令	すぎ(立木評価標準)	掛金
5	23,000	89.7
10	35,000	136.5
15	50,000	195
20	70,000	273
35	136,000	258.4
40	239,000	454.1

### 所得税の申告と納税は

#### 三月十五日まで

所得税の確定申告期もなば過ぎましたが、もう申告はお済みになりましたか。昭和49年度の確定申告と納税は昭和50年3月15日までです。確定申告をしなければならぬ人は、まだお済みでない人は早く済ませて下さい。

区分	昭和49年分
(1) 基礎控除額	23万2,500円
(2) 配偶者控除額	23万2,500円
(3) 扶養控除額	一般の扶養親族………22万円 ただし、配偶者がいない人の第1人目の扶養親族については、 22万5,000円 老人扶養親族………25万7,500円
(4) 障害者控除額	一般の障害者………15万2,500円 特別障害者………22万7,500円
(5) 老年者控除額	15万2,500円
(6) 寡婦控除額	15万2,500円
(7) 勤労学生控除額	15万2,500円

次に、申告をするときの注意点を簡単に説明しましょう。一、所得税の確定申告書を税務署へ提出した人は、住民税や事業税の申告書は出さなくてもよいことになっています。で、確定申告書の住民税や

### 村県民税の申告は

#### 三月十五日まで

昭和五十年分村県民税の申告は所得税と同様3月15日まで提出していただくことになっております。申告書及び説明書は、3月上旬、区長さんを通して各人へお届けいたしますから、所定事項を記載し忘れずに申告して下さい。

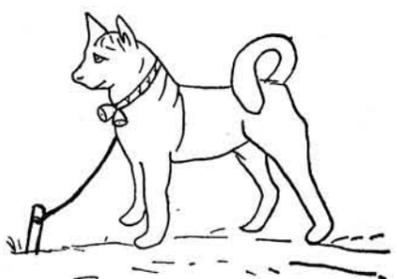
### お知らせ

#### 農耕用軽油免税証交付

。電気税の改正について 昭和50年1月1日以降消費分について次のように改正されました。(1) 税率、6%から5%に引き下げられ (2) 免税点、一、二〇〇円から二、〇〇〇円に引き上げられました。

### 犬の放し飼いはやめよう

和島村では、犬の放し飼いをしている家庭が多いようですが、最近上小島谷でチャボ3羽、島田小学校のウサギ、チャボなどが犬に咬み殺されています。



生活の一部にしよう  
火の点検

あせっている、今があなたの、赤信号

止まります、待ちます、車のきれるまで